

長岡市景況調査票（サービス業）

令和8年7～9月期

貴事業所名	従業員数 ① 0人～5人 ② 6人～10人 ③ 11人～20人 ④ 21人～30人 ⑤ 31人～50人 ⑥ 51人以上
担当者名	
メールアドレス	
加盟商工会・商工会議所（複数選択可） ①長岡商工会議所 ②長岡北（与板） ③長岡北（和島） ④長岡南（関原） ⑤長岡南（二和） ⑥長岡南（越路） ⑦長岡南（山古志） ⑧長岡南（川口） ⑨長岡南（小国） ⑩中之島 ⑪三島 ⑫寺泊 ⑬栃尾 ⑭無所属	
業種区分（貴事業所の主要業種の番号に、1つ○印をご記入願います） 4. サービス業 ①運輸 ②情報・通信サービス ③飲食店 ④旅館・ホテル ⑤不動産 ⑥自動車整備 ⑦娯楽 ⑧医療 ⑨リネン・クリーニング ⑩美容 ⑪その他 _____	
主要取扱品目をご記入願います →	

● 景気動向に関する調査

問 1. 令和8年7～9月期の貴事業所の状況は、前年同期および前期と比較していかがでしたか。
該当する番号 1 つに○印を付けてください。（貴事業所の業種に該当する設問のみの回答で結構です）

令和8年7～9月期の状況

	①前年同期と比べて （令和7年7～9月）	②前期と比べて （令和8年4～6月）	左記①で前年同期と比べて業況が「良い」または「悪い」としたのはなぜですか。（複数回答可）
a. 業況（自社）	1.良い 2.不変 3.悪い		
b. 売上高	1.増加 2.不変 3.減少		
c. 採算（経常利益）	1.良い 2.不変 3.悪い		
d. 売上単価	1.上昇 2.不変 3.低下		
e. 売上数量	1.増加 2.不変 3.減少		
f. 仕入単価	1.上昇 2.不変 3.低下		
g. 仕入数量	1.増加 2.不変 3.減少		
h. 資金繰り	1.良い 2.不変 3.悪い		
i. 借入金利	1.上昇 2.不変 3.低下	1.上昇 2.不変 3.低下	
j. 従業員（含臨時・パート）	1.増加 2.不変 3.減少		
k. 外部人材（請負・派遣）	1.増加 2.不変 3.減少		

「良い」の理由	「悪い」の理由
1.需要動向の好転	1.需要動向の悪化
2.販路の拡大	2.販路の縮小
3.資金繰りの好転	3.資金繰りの悪化
4.売上単価の上昇	4.売上単価の低下
5.原材料・仕入単価の低下	5.原材料・仕入単価の上昇
6.経費削減の進展	6.経費負担の増加
7.為替の好影響	7.為替の悪影響
8.新分野への進展	8.その他（ ）
9.新製品の開発・取扱い	
10.その他（ ）	

上記で選択した項目について具体的な内容をご記入ください。

問 2. 令和8年10～12月期の貴事業所の見通しは、前年同期および直前期と比較していかがですか。
該当する番号 1 つに○印を付けてください。（貴事業所の業種に該当する設問のみの回答で結構です）

令和8年10～12月期の見通し

	①前年同期と比べて （令和7年10～12月）	②前期と比べて （令和8年7～9月）	左記①で前年同期と比べて業況が「良い」または「悪い」と見通したのはなぜですか。（複数回答可）
a. 業況（自社）	1.良い 2.不変 3.悪い		
b. 売上高	1.増加 2.不変 3.減少		
c. 採算（経常利益）	1.良い 2.不変 3.悪い		
d. 売上単価	1.上昇 2.不変 3.低下		
e. 売上数量	1.増加 2.不変 3.減少		
f. 仕入単価	1.上昇 2.不変 3.低下		
g. 仕入数量	1.増加 2.不変 3.減少		
h. 資金繰り	1.良い 2.不変 3.悪い		
i. 借入金利	1.上昇 2.不変 3.低下	1.上昇 2.不変 3.低下	
j. 従業員（含臨時・パート）	1.増加 2.不変 3.減少		
k. 外部人材（請負・派遣）	1.増加 2.不変 3.減少		

「良い」の理由	「悪い」の理由
1.需要動向の好転	1.需要動向の悪化
2.販路の拡大	2.販路の縮小
3.資金繰りの好転	3.資金繰りの悪化
4.売上単価の上昇	4.売上単価の低下
5.原材料・仕入単価の低下	5.原材料・仕入単価の上昇
6.経費削減の進展	6.経費負担の増加
7.為替の好影響	7.為替の悪影響
8.新分野への進展	8.その他（ ）
9.新製品の開発・取扱い	
10.その他（ ）	

上記で選択した項目について具体的な内容をご記入ください。

問3. 令和8年7～9月期の業況の水準は、現状としていかがでしたか。（過去との比較でなく）
該当する番号1つに○印を付けてください。

	令和8年7～9月期の水準(過去との比較でなく現状として)		
a. 業況(自社)	1.良い	2.普通	3.悪い
b. 採算(経常利益)	1.黒字	2.収支均衡	3.赤字
c. 従業員(含臨時・パート)	1.余剰	2.適正	3.不足
d. 設備	1.過剰	2.適正	3.不足

問4. 令和8年度上半期（令和8年4月～9月）および令和8年度下半期（令和8年10月～令和9年3月）の新規設備投資は、
どのような状況ですか。また、新規設備投資がある場合、どのような投資内容ですか。
該当する番号すべてに○印を付けてください。

令和8年度上半期(令和8年4月～9月)

①設備投資を、	
1. 実施した (↓「問②」へ)	2. しなかった (「問③」へ→)
②実施内容	
1. 土地	2. 建物
3. 生産設備	4. 車両・運搬具
5. 付帯施設	6. OA機器
7. 福利厚生施設	
8. その他(具体的に:)	

令和8年度下半期(令和8年10月～令和9年3月)

③設備投資を、	
1. 計画している (↓「問④」へ)	2. していない (「問⑤」へ→)
④. 計画内容	
1. 土地	2. 建物
3. 生産設備	4. 車両・運搬具
5. 付帯施設	6. OA機器
7. 福利厚生施設	
8. その他(具体的に:)	

⑤. 設備投資を計画していない理由
1. 十分である
2. 令和9年度上半期で計画している
3. 事業の先行きに不安がある
4. 資金調達が難しいから
5. 事業を継続する予定がないから
6. その他 (具体的に:)

問5. 問4①で「実施した」、問4③で「計画している」、問4⑤で「令和9年度上半期で計画している」を選択された方に
伺います。設備投資を行う目的は、どのようなものですか。該当する番号すべてに○印を付けてください。

設備投資の目的	
1. 補修・更新	2. 省力化・合理化
3. 生産性向上	4. 新規事業への進出
5. 省エネ・公害防止	6. 福利厚生
7. 研究開発	
8. その他(具体的に:)	

問6. 令和8年7～9月期において直面している経営上の問題点は、どのようなものですか。
該当する番号に3つ以内で○印を付けてください。

経営上の問題点	
1. 大企業の進出による競争の激化	2. 新規参入業者の増加
3. 利用者ニーズの変化への対応	4. 店舗施設の狭隘・老朽化
5. 人件費の増加	6. 人件費以外の経費の増加
7. 利用料金の低下・上昇難	8. 材料等仕入単価の上昇
9. 金利負担の増加	10. 事業資金の借入難
11. 従業員の確保難	12. 熟練従業員の確保難
13. 需要の停滞	14. その他 (具体的に:)

上記で選択した項目について具体的な内容をご記入ください。

--

【原油高・調達環境の影響】

問1. 原油価格の高騰や供給不安に伴い、貴社の事業活動への影響はありますか。

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. 現時点で悪い影響がある | 2. 今後悪い影響が出る見込み |
| 3. わからない・どちらとも言えない | 4. 影響はない・影響が出る見込みはない |

問2. 問1で「1. 現時点で悪い影響がある」「2. 今後悪い影響が出る見込み」と回答された方に伺います。
具体的にどのような影響がありますか。(複数回答可)

- | | |
|-------------------------------|-----------------|
| 1. 仕入価格の上昇(石油由来原材料等) | 2. 仕入調達の遅れ・不安定化 |
| 3. 輸送コストの上昇(運賃の上昇・サーチャージの増加等) | 4. 燃料費・電気料金の上昇 |
| 5. 受注・売上の減少 | 6. その他() |

問3. 問2で「1. 仕入価格の上昇」と回答された方に伺います。現在の仕入れ状況や、従来(供給不安前)と比べた値上げ幅について、「最も影響が大きい主要な品目」についてお答えください。

- | | | |
|---|------------------|------------------|
| ① 仕入れの状況(あてはまるものを1つ) | | |
| 1. 通常の価格改定(原材料高騰に伴う、一般的な値上げ) | | |
| 2. 高額な価格の受け入れ(原則納品謝絶だが、高価格を容認することで仕入れられる状態) | | |
| ② 従来と比べた価格の上昇率(あてはまるものを1つ) | | |
| 1. 5%未満(ほぼ横ばい) | 2. 5%以上 ~ 10%未満 | 3. 10%以上 ~ 20%未満 |
| 4. 20%以上 ~ 30%未満 | 5. 30%以上 ~ 50%未満 | 6. 50%以上(1.5倍以上) |
| 7. 100%以上(2倍以上) | | |

問4. 問2で「2. 仕入調達の遅れ・不安定化」と回答された方に伺います。
該当する具体的な品目名・遅延の程度を記入してください。

--

問5. 貴社において、取り組んでいる対策・今後予定している対策をお答えください。(複数回答可)

- | | |
|------------|-----------------|
| 1. 価格転嫁 | 2. 取引先との交渉 |
| 3. 仕入先の見直し | 4. 商品・製品の見直し |
| 5. 製造工程の改善 | 6. 設備導入による業務効率化 |
| 7. 諸経費の削減 | 8. 特に対策は行っていない |
| 9. その他() | |

●従業員の働き方に関する調査

【働き方】

問6. 貴事業所の従業員数 この調査票が届いた所在地の事業所のみの状況をご記入ください。

	男性	女性	合計
全従業員数	人	人	人
(全従業員のうち、管理職※1)	人	人	人
(全従業員のうち、技術職、開発職※2)	人	人	人

※1 管理職は、課長級以上の管理・監督的業務の従事者についてご記入ください。

※2 技術職、開発職は、専門知識を必要とする業務の従事者についてご記入ください。

問7. 貴事業所には、育児休業に関する規定はありますか。

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問 8. 貴事業所の正規従業員のうち、令和 7 年度（令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 3 1 日）に出産した従業員等について、下表の区分により人数をご記入ください。
※該当者がいなかった場合は 0 人としてください。

女性従業員について		男性従業員について	
出産した従業員	人	配偶者が出産した男性従業員	人
・ 育児休業取得（※）	人	・ 育児休業取得（※）	人
・ 出産のために退職	人	・ 出産のために退職	人
・ 育児休業を終了して復職	人	・ 育児休業を終了して復職	人

（※）産後パパ育休、パパママ育休プラスを除く。